

2023年度点検・評価シート

- ・評価の視点【基礎要件○】は法令要件、その他基礎的要件の充足状況を判断する指針
【評価要件○】は基礎要件以外で、大学基準協会が大学基準に照らし定めた指針
- ・評価の視点に「※」が付されている場合は、大学基礎データ、基礎要件確認シート及び別途収集する根拠資料により、点検・評価し、適切性を判断してください。
- ・★のある欄は、必須記述欄です。ただし、該当なしと判断した場合は「なし」と記入してください。
- ・◆のある欄は、各点検・評価項目の内容について、問題点を記入してください。（ない場合は「なし」と記入）

I【現状】原則2023年5月1日現在の状況で回答してください。

対象部局	26看護学科	責任者	森田 恵子
基準5	学生の受け入れ	自己評価	A
★基準5の自己評価の理由を簡潔に解説してください。			
≪回答≫ 学生の受け入れ方針を定め、公表し、学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施している。また、入学定員・収容定員に対して概ね適正な数を受け入れ・維持している。大学基準に照らして良好な状態にあり、理念・目的（教育研究上の目的）を実現する取り組みは概ね適切であると判断した。			
点検・評価項目(1)	5-1 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。		
★<学生の受け入れ方針>（記入してください。）	下記のように受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を定め、入学試験要項および大学ホームページにおいて広く公開している。 看護学科は、教育研究上の目的、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針に基づき、以下の能力を備えた受験生を各種選抜試験によって受け入れる。		変更 有（ ） 無（ <input checked="" type="checkbox"/> ）
1. 知識・技能	1. 入学後の学修に必要な基礎学力としての知識を有している。 2. 思考力・判断力・表現力 1. 物事を多方面から論理的に思考することができる。 2. 自分の考えを的確に表現し、言語化することができる。		
3. 主体的に学習に取り組む態度	1. 看護の対象者である人間が好きで、その健康に関わる諸問題について、深い関心と倫理観を備え、看護を学びたいという意欲がある。 2. 道徳的で積極的に他者とのかわり対話ができる態度を有している。		
評価の視点1※ 【基礎要件○】	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を設定し公表している。根拠資料→A1-6-1Web サイト 大東文化大学の基本方針、基礎要件確認シート 15		
評価の視点2※ 【基礎要件○】	方針には、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像を踏まえて設定している。根拠資料→A1-6-1Web サイト 大東文化大学の基本方針		
評価の視点3※ 【基礎要件○】	入学希望者に求める水準等の判定方法が明確に示され、公表している。根拠資料→A1-6-1Web サイト 大東文化大学の基本方針		
◆学生の受け入れ方針の内容や、公表の仕方について問題点があれば記述してください。（ない場合は「なし」と記入）			
≪回答≫ なし			
点検・評価項目(2)	5-2 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。		
評価の視点1※	学生の受け入れ方針に基づく学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定している。根拠資料→A5-1Web サイト 入試情報、B5-2 入学試験要項（一般、公募制推薦、自己推薦、社会人、編入学、科目等履修生、外国人留学生）、A5-4*大東文化大学入学者選抜試験規程		
評価の視点2※	授業料その他の費用や経済的支援に関する情報提供を適切に行っている。根拠資料→A5-1Web サイト 入試情報		
評価の視点3※	学科ごと入試に関わる委員会等を設置し、入学者選抜実施のための運営体制を整備している。根拠資料→A3-11*入学センター規程、B5-15 部局内入試委員会名簿		
評価の視点4	公正な入学者選抜を実施している。根拠資料→A5-3Web サイト、A5-4*大東文化大学入学者選抜試験規程		
★項目(2)5-2①公正な入学者選抜を実施するため、どのような取り組みを行っているか、根拠資料を用いて回答してください。			
≪回答≫ 推薦入試（総合型選抜、学校選抜）においては小論文および面接を課しており、アドミッション・ポリシーに基づいた詳細な評価表を作成し、評価者による評価のばらつきが生じないようにしている。その上で、判定会議において審議・判定を行っている。また、入試担当者は一部の教員だけでなく、広く学科全体で担当することとしている。		≪資料名≫ 26-C5-1：【総合型選抜】面接評価表	
★項目(2)5-2②オンラインによる入学者選抜を行う場合における公正な実施（オンラインによる入学者選抜を検討していれば、実施する場合における課題やメリット等を記述してください。）			
≪回答≫ オンラインによる入学者選抜の予定はない。			
評価の視点5	入学を希望するものへの合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施している。（一般入試及び多様な入試への対応）根拠資料→A5-3Web サイト、A5-4*大東文化大学入学者選抜試験規程		
★項目(2)5-2③オンラインによって入学者選抜を行う場合における公平な受験機会の確保（受験者の通信状況の顧慮等）（オンラインによる入学者選抜を検討していれば記述してください。）			

<回答> オンラインによる入学者選抜の予定はない。	
◆学生募集及び入学者選抜について問題点があれば記述してください。(ない場合は「なし」と記入)	
<回答> なし。	
点検・評価項目(3)	5-3 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理している。
評価の視点1※ 【基礎要件●】	学科の入学者数は、入学定員に対して適正な数である。 注：定員管理の指針 入学定員に対する入学者数比率(5年平均) 定員超過→実験実習を伴う分野 1.20以上(改善課題)、1.25以上(是正勧告) 上記以外の分野 1.25以上(改善課題)、1.30以上(是正勧告) 定員未充足→0.90未滿(改善課題)、0.80未滿(是正勧告) 根拠資料→大学基礎データ表2、基礎要件確認シート16
評価の視点2※ 【基礎要件●】	学科の在籍学生数は、収容定員に対して適正な数を維持している。 注：定員管理の指針 収容定員に対する在籍学生数比率 定員超過→実験実習を伴う分野 1.20以上(改善課題)、1.25以上(是正勧告) 上記以外の分野 1.25以上(改善課題)、1.30以上(是正勧告) 定員未充足→0.90未滿(改善課題)、0.80未滿(是正勧告) 根拠資料→大学基礎データ表2、基礎要件確認シート16
評価の視点3	収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応
★項目(3)5-3 収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足がある場合、当該部局としての改善策(今後実施予定のものも含む)根拠資料を用いて回答してください。	
<回答> 収容定員数400人に対して、学生数420人のため、適正な数を維持している。	<資料名> 26-C5-2：なし
点検・評価項目(4)	5-4 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。
評価の視点1※ 【評価要件○】	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を実施している。 根拠資料→B2-51 2023年度点検・評価シート B2-52 会議録(または準ずるメール記録)：(開催日)2023年度自己点検・評価について
評価の視点2 【評価要件○】	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っている。
★項目(4)5-4 改善・向上に向けてこれまでに取り組んだこと、現在取り組んでいることがあれば、具体的に回答してください。2019年度以降の取り組みも含めて記述してください。	
<回答> 業者・埼玉県看護協会主催の進学相談会、および高校模擬授業などに積極的に教員を派遣した(2022年度実績として進学相談会14件、高校模擬授業5件)。大学所在地である首都圏の都府県のみならず、重点的に広報する県を学科独自で定め広報機会の増加に努めている。2022年度には群馬県の説明会に重点的に参加した他、2024年度入試に向け2023年度についても新潟県、岩手県への広報機会を大学入試広報課との連携により新たに計画している。	<資料名> 26-C5-3： 2022年度進学相談会・高校模擬授業派遣リスト

II 現状を踏まえ、長所・特色として特記する事項(工夫していること)を、意図した成果(目標)を明確にして記述してください。

※注：前年度の取り組みに限らず、過去から継続している事項も含める

長所・特色	完成年度を終え、学生の出身高校別成績を有意な資料とできると判断した2022年度より、成績優秀者を複数輩出している高校については、項目(3)5-3で記載したように学科より新たに指定校となつていただくよう依頼した。加えて、学科主任名義で謝辞を述べた手紙を送付または進路指導担当者に手渡すことを行った。現時点でただちに成果が出ているかどうかの判断はできないが、学生の数の確保だけでなく、質の確保を目標として今後も取り組みを継続する予定である。
-------	--

III 今回の点検・評価の結果、明らかになった新たな問題点や課題について、今後の方針や計画を含めて記述してください。

※注：2023年度事業計画としてアクションプランを策定しているものは除く

問題点・課題	
--------	--

IV 【改善計画(事業計画)】

カテゴリ	計画番号	B票Nsor開始年度	改善計画(アクションプラン)	内容(改善を要すると判断した根拠)	目標の評価指標	目標値	年度計画

V 【内部質保証委員会による点検・評価】

2022年度<所見> 学生の受け入れ方針は、大学の方針に連関し学力の3要素それぞれに紐づけた形で求める学生像が明示され、学位授与方針、教育課程の編成方針との一貫性も考慮されている。これらの方針はすべて学部学科のホームページなどで公表され、各方針との関連性も確認することができる。また、入学者選抜の制度化に関しては、「入学センター規程」及び「大東文化大学入学者選抜試験規程」に基づく制度と体制により「入学試験要項」が定められ、公正な入学者選抜を実施していると判断できる。推薦入試(総合型選抜、学校選抜)においてはアドミッション・ポリシーに基づいた詳細な評価票(ルーブリック)を作成するなど公正性に配慮し

<p>た工夫もみられる。これらにより、学生の受け入れに関する方針の設定と公表、及びそれに基づく入学者選抜の制度や運営は、適切かつ公正に実施していると評価できる。</p> <p>入学者数及び在籍学生数は、ともに1.00前後で経年推移しており、入学定員の設定と学生の受け入れ及び収容定員に基づく在籍学生数は概ね適正に管理されている。</p>
<p>2023年度<所見></p> <p>学生の受け入れ方針は、学位授与方針、教育課程の編成方針との一貫性も考慮されている。これらの方針は学部学科のHPなどで公表され、各方針との関連性も確認でき評価できる。</p> <p>入学者選抜の制度化に関しては、大学として「入学センター規程」及び「大東文化大学入学者選抜試験規程」に基づく制度と体制により「入学試験要項」が定められ、公正な入学者選抜を実施していると判断できる。これらにより、学生の受け入れに関する方針の設定と公表、及びそれに基づく入学者選抜の制度や運営は、適切かつ公正に実施していると評価できる。</p> <p>看護学科は、過去5年の入学定員に対する平均比率が1.04、定員充足率1.05と定員の確保はされている。</p> <p>独自に行った学科の学生の出身高校別成績に関する調査の結果、成績優秀者を複数輩出している高校に対し指定校としていく戦略も学生数のみならず質の確保といった側面からも高く評価できる。また、加えて進学相談会および高校模擬授業への積極的な教員派遣などの取り組みを継続することは今後の定員及び質の維持・向上が期待される。並行して様々な取り組みに関する効果の分析、検証を行うことが望まれる。</p>

◆評価の基準について

※各基準の「自己評価」は、各部局の判断に委ねられます。なお、青字部分は、本学としての解釈です。

S	<p>大学基準に照らして極めて良好な状態にあり、理念・目的（教育研究上の目的）を実現する取り組みが卓越した水準にある。</p> <p>（評価の視点に対して、クリアしており、さらに向上させるための取り組みを行っている、または、他部局の参考となるような特色ある取り組みを行っている場合）</p>
A	<p>大学基準に照らして良好な状態にあり、理念・目的（教育研究上の目的）を実現する取り組みが概ね適切である。</p> <p>（評価の視点に対して、クリアしている状況と判断する場合）</p>
B	<p>大学基準に照らして軽度な問題があり、理念・目的（教育研究上の目的）の実現に向けてさらなる努力が求められる。</p>
C	<p>大学基準に照らして重度な問題があり、理念・目的（教育研究上の目的）の実現に向けて抜本的な改善が求められる。</p>

<注> 「大学基準」は大学基準協会「大学評価ハンドブック」を参照のこと。

解説にある「大学は云々・・・」については、学部、研究科等の現状に置き換える。

基準5 学生の受け入れ

【大学基準】

大学は、自ら掲げる理念・目的を実現するために、学生の受け入れ方針を定め、公表するとともに、その方針に沿って学生の受け入れを公正に行わなければならない。

（解説）

大学は、その理念・目的を実現するために、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえ、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像、入学希望者に求める水準等の判定方法を示した学生の受け入れ方針を定め、公表しなければならない。また、入学定員及び収容定員を適切に定め、公表しなければならない。

大学は、その受け入れ方針に基づき、高等学校教育と大学教育との関連、社会人、帰国生徒及び外国人留学生の受け入れ、飛び級、編入学、転科・転部など、国際的規模での社会的要請に配慮し、適切な入学者選抜制度及びその運営体制を整備し、入学者選抜を公正に行う必要がある。

大学は、教育効果を十分に上げるために、入学定員に対する入学者数及び収容定員に対する在籍学生数を適正に管理しなければならない。

大学は、学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価し、その結果を改善・向上に結びつける必要がある。